

令和2年度 第4回三次市地域公共交通会議 議事要旨

1. 開催概要

日 時：令和2年12月11日（金）14時00分～16時00分

場 所：三次市役所 本庁舎 603会議室

出席者：

[会長] 三次市 副市長 堀川 亮

[委員]

三次市地域振興部 中原 みどり	備北交通株式会社 實兼 利光
有限会社三和タクシー 部谷 勝之	私鉄中国地方労働組合備北交通支部 長谷川 和宏
粟屋町 加井妻 敏幸	三和町 福場 和子
三次市社会福祉協議会 梶原 真美	中国運輸局広島運輸支局 米田 正裕
広島県地域政策局 松田 学 (代理)	三次市建設部 大前 安史 (代理)
米子工業高等専門学校 加藤 博和	

[オブザーバー]

西日本旅客鉄道株式会社広島支社 福永 修二

2. 会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 路線バスの収支状況について
 - (2) 福塩線ワイン列車の実施状況について
- 4 協議事項
 - (1) 令和2年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について
 - (2) 広島県広域 MaaS 推進事業「ひろしま MaaS グルっとライドチケット」の実施について
 - (3) 三次市地域公共交通計画の素案について
- 5 その他
- 6 閉会

3. 議 事

1. 開 会

2. 会長あいさつ

(会長)

本日はご多忙中にも関わらずお集まりいただき感謝申し上げます。

さて、本市の地域公共交通をとりまく情勢は、依然として厳しい状況が続いており、それに加え、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大は、本市の地域公共交通に大きな影響を及ぼしている。令和2年度事業における路線バスの収支状況をみると、利用者の減少により、例年に比べ収支状況が悪化した路線が多くみられる。

利用者が減少する一方で、路線バスをはじめとした公共交通は、市民の日常生活に欠かすことができない重要な機関であることに変わりはなく、市としても、今後の交通網の確保・維持に向け、検討を続けている。

本日は、前回ご検討いただいた内容を踏まえ、来年度に向けた地域公共交通計画の素案に関する事項を中心にご協議いただく予定である。新たな感染症の蔓延など、近年の社会情勢に対応し、市民の皆様暮らしを支え続けるためには、持続可能な地域公共交通体系の形成を図る必要があり、交通のマスタープランである交通計画の策定は、極めて重要な取組であると認識している。より実効的な計画策定に向け、ぜひとも、忌憚のないご意見をいただけるよう、よろしくお願ひしたい。

○連絡事項

<事務局より、資料の確認。次の事項を連絡>

- ・委員の欠席について。
- ・本会議は原則公開，傍聴席を設けていること。
- ・会議資料及び質疑応答などの会議録は，市のホームページ上で公開すること。

3. 報告事項

<事務局より，報告事項(1)「路線バスの収支状況について」を説明>

<事務局より，報告事項(2)「福塩線ワイン列車の実施状況について」を説明>

(加藤委員)

ワイン列車について，参加者はどこから来た人が多いなど，マーケティングは掴んでおられるのか。一過性ではなく，市として，例えば観光協会を通じてダイレクトメールや SNS を使った発信を行うなど，是非とも繋ぎ止めて次に繋げてほしい。そういったフォローも含めて実施されるのか。

(事務局)

福塩線ワイン列車は日本旅行に委託したものであるが、現在、参加者を集計していただいている。参考までに昨年度の実績では、列車が福山発のため、ほとんどの方が福山市からで、一部は途中の府中からの参加であった。どちらかというと都市部の方が、三次、中山間地域に向けて来ていただいたという状況である。市としても次に繋げたいという思いは持っているので、今年の実績も分析しながら次年度以降に繋げていきたい。

(会長)

お客様へのフィードバックは是非上手くやっていただきたい。

4. 協議事項

<事務局より、協議事項(1)「令和2年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について」を説明>

(松田委員)

各事業評価の目標値はどのように設定しているのか。

(事務局)

目標の設定時期が前年度の6月であるので、更にその前年度の4月から3月の利用状況を集計して、平均値をとる。その平均値を算出根拠として、利用促進策による利用増の見込みや、社会情勢等を勘案して算出している。

(会長)

協議事項(1)「令和2年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について」をご承認いただけるか。

(一同)

承認

(事務局)

今ご協議いただいたが、今後の運輸局とのやりとりの中で軽微な修正が生じる可能性がある。そうなった場合には事務局で調整して提出させていただきたいが、これについてもご承認いただきたい。

(会長)

この点についてもご承認いただけるか。

(一同)

承認

<事務局，及び松田委員代理より，協議事項(2)「広島県広域 MaaS 推進事業「ひろしま MaaS グルっとライドチケット」の実施について」を説明>

(会長)

くるるんを含む4路線の運賃は，本会議での議決事項ということで，ご協議いただくものである。ご説明があったように，新型コロナウイルスの影響を踏まえて期間の変更等があり得るものの，基本的にはこの方向で進めたいとのことである。

協議事項(2)「広島県広域 MaaS 推進事業「ひろしま MaaS グルっとライドチケット」の実施について」，ご承認いただけるか。

(一同)

承認

<事務局より，協議事項(3)「三次市地域公共交通計画の素案について」を説明>

(会長)

本会議における協議のポイントは，77 ページから 88 ページの各事業であろう。ここを中心に是非ご議論いただきたい。

(加藤委員)

77 ページの事業 1 は，経常収支率の見直しを進めるものであるが，20%未満の系統は固定化しているかと思う。この運行改善は進んでいくのか。現計画から次期計画に向けて具体策が必要と思う。

82 ページからの相乗りタクシーについて，高齢単身の女性の世帯が増えているという分析であったが，相乗りタクシーは2人以上の利用で適用されるため，地域の方の意見の中にも一人暮らしで現実には相乗りが難しいという意見もある。また，1 km という基準についても高齢者にとっては遠いのではないか。三次市は高齢化が進み，平均年齢も高くなっていると思う。説明があったとおり制度の周知も必要であるが，制度内容と現状とにミスマッチが生じているように推察される。5年間の計画であるので，状況の変化に応じて柔軟に対応する余地を残していただきたい。

74 ページでは鉄道利用促進策の参加者数が指標に挙げてあり，5年間で2千人ということである。カウントの仕方を確認したいのだが，先程のワイン列車のようなものに乗車された人数というよりは，例えば沿線自治体で連携して行うイベントでの参加者数等をカウントするのか。

また，これまでの交通会議で具体的なイベントの紹介があったが，計画の完成版には写真等を入れると見栄えも良くなるかと思う。文字ばかりではなくビジュアル的なものが全体的にあっても良い。

(事務局)

路線バスに関して、現計画にも同様に20%未満の路線は見直しを図る、と掲載している。報告事項1でご説明したように、系統の収支状況は毎年ご報告し、20%未満の路線については改善を検討している。しかし定期的に利用者がおられたり、例えば下津田線に関して言えば、世羅町内から一定の通学利用がある等、制約条件がある路線については再編が難しい状況もある。しかしながら、20%未満というラインを設定することで効率化に向けた見直し基準としたいということから本計画に記載している。

82ページの相乗りタクシーについて、制度の周知を今後図っていくが、加藤委員からご指摘の高齢女性が多くなっているということは本計画でも分析をしている。本市では、公共交通として考えて「2人以上の利用」というお願いも込めて、制度を設計している。しかし、実態とミスマッチが生じていることは住民自治組織の方からもご意見をいただいている。こういったことも含めて5年間の計画期間の中で、見直しも含めて検討する。ただし、限られた公共交通の予算内での実施となるので、これを勘案しながら検討していきたい。

鉄道関連の目標である参加者数について、実際に乗られる方以外の参加者を含めたものである。例えば三次駅前イベントを実施した場合、そこには鉄道に興味を持つ方がいらっしゃるが、こうした鉄道利用促進全体の参加者数をとっていききたい。図・写真等については今年度実施のイベントもあり、可能な範囲で追加していきたい。

(会長)

計画の素案については今日いただいたご意見等を反映して事務局と調整し、修正については会長に一任していただくということで計画案としたい。ご承認いただけるか。

(一同)

承認

6. 閉 会